

帝京大学教職大学院 NITS帝京大学センターの取り組み

帝京大学大学院教職研究科では、NITSの地域センター事業を受託し、「研修観の転換」に取り組んでいます。教師の学びのあり方が変わるような、新たな形での教員研修の開発・実施に取り組んでいます。

●探究型 リフレクション

NITS 帝京大学センター
2026 第1回
**探究型
リフレクション**

2026年6月20日(土)
13:00~16:30 [無料]

開催会場 帝京大学
八王子キャンパス

教師の新たな学びを開く
探究型リフレクション

教師や一人の人間としてのあなたのこれまでの経験を振り返り、他者や自身との対話やワーク等を通じて、「観」を見つめなおし、次の一歩を探究していきます

第一部 13:00~
探究型リフレクションワーク
講師：町支大祐（帝京大学）

第二部 14:30~
ゲストを迎えての対話

ゲスト
青山雄太さん
(ヒモツキキッズ学園 スクールリーダー)

15年前、公立小学校教員を始めたのが、2020年よりオールドナティブスクール、ヒモツキキッズ学園にて勤務。2025年からは福岡、学校外でも、教職員のみならずの科連や軽やかな働き方の提案などの活動を行っている。
著書に「先生が知っておきたい仕事のデザイン」「プロジェクト活動のススメ」「自立型生涯学習のススメ」「学校はこうあるべきって誰が決めた？」(増訂版) など

申込 申し込みは下記2次元コードからお願いします
お問い合わせ teikyogste@gmail.com

主催：NITS帝京大学センター・帝京大学大学院教職研究科

●夏季公開講座

NITS 帝京大学センター
2026年8月24日(月)
帝京大学八王子キャンパス (受講無料)

前半の部 (13:00~14:30) 後半の部 (14:50~16:20)

先生もフェルビーング！
～充実した生活と仕事～
【主な対象：中堅以上の教員】

先生が充実したライフを！
～仕事に忙しすぎるのをあきらめない～
【主な対象：新卒者・若手教員】

講師 賢治
(帝京大学大学院教職研究科 准教授)

己を知り、新学習指導要領を知れば、
迷わず進めよう
【主な対象：教員歴およそ10年以上の方】

新学習指導要領に向け、
「能力に応じて」を考える
【主な対象：教員歴およそ10年以上の方】

講師 貴哉
(帝京大学大学院教職研究科 准教授)

道徳教育・道徳科の基礎基本
【主な対象：若手教員】

「考え・議論する道徳」の実践に向けて
【主な対象：全般】

講師 美穂子
(東京大学大学院教育学研究科 准教授)

教師が自己を探究するリフレクション
【主な対象：全般】

教師が自己を探究するリフレクション
【主な対象：全般】 ※前半と同じ内容です

講師 大祐
(帝京大学大学院教職研究科 准教授)

いじめ事例から問い直す初期対応と組織対応
～子どもに寄り添うための実践的視点～ (前半)

いじめ事例から問い直す初期対応と組織対応
～子どもに寄り添うための実践的視点～ (後半)

講師 豊
(帝京大学大学院教職研究科 准教授)

各講座の詳細は裏面をご覧ください。
受講はWebフォームでの事前申込が必要です。(8月10日まで)
<https://x.gd/7EQ0V>

主催：NITS帝京大学センター・帝京大学大学院教職研究科

●NITS帝京大学センター フォーラム

第17回 帝京大学教職大学院フォーラム
～子どもを見つめて～

共生社会の実現と学校の使命
— 特別支援教育に対する教師の当事者意識を問う —

2014年、日本の国連の「障害者の権利に関する条約」に批准して、障害の有無に関わらず共に生きる「共生社会」の実現が図られました。同条約の第24条は「教育におけるインクルージョン」であり、全ての子どもが共に学ぶ場の実現が促されています。日本国内では近年、インクルーシブ教育の実現に向けて様々な専ら専門家会議があります。共生社会の実現に向けた施策の一方で、個々の教師における特別支援教育に対する当事者意識が向上しているとは言いがたい状況があります。また、2022年には国連障害者権利委員会による審議で、日本のインクルーシブ教育に向けた取り組み状況が報告されました。

本フォーラムでは、障害のある子どもの支援に関わってきた様々な立場の方々を呼び、改めて特別支援教育に対する教師の当事者意識と共生社会の実現に向けた学校の役割について、“Think Globally, Act Locally”の視点から、会場の参加者、教職研究科学生・教員とともに考えていきます。

パネリストによる話題提供

片山 純子氏
(前 川崎市立豊住小学校 校長)
「誰一人取り残さない特別支援教育 ～ある公立小学校の小さな挑戦～」

豊山 花林氏
(海老名市教育委員会 教育部 教育支援課 支援係 指導主事；本学教職研究科修了生)
「海老名市のフルインクルーシブ教育の推進～市民との対話を通じて～」

岩本 明子氏
(都立青島特別支援学校ベースボール部 (硬式野球) 生徒の保護者)
「障害のある子どもを持つ保護者の立場から」

及川 利紀
(帝京大学大学院教職研究科 教授)
「特別支援教育に関する教員養成・育成の現状と課題」

グループセッション (60分)
参加者を複数のグループに分けて、少人数で意見交換をします。
各グループの意見は、最後の全体セッションで共有されます。

2025年11月29日(土) 13:00~17:00 (受付開始 12:30)
帝京大学八王子キャンパス (八王子市大塚359) ・ソラティオスクエア4階
(※事前申し込み(裏面をご参照ください))

後援：東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、八王子市教育委員会、多摩市教育委員会、日野市教育委員会、相模原市教育委員会

※〈参考〉
2025年度